

なすからすやま

Public Relations Magazine of Nasukarasuyama City

おめでと う No.151

特集 平成30年度の主な事業と予算	2
第1回市議会定例会	6
市職員の人事異動	8
各種講演会、報告会	10
卒業式・卒園式	12
若船駅伝大会・小学生駅伝大会	14
消費者コラム	15
まちのわだい	16
インフォメーション	18
鳥山高校の紹介・ジオパーク構想だより	20

April 2018

ぼくたち、わたしたち4月から1年生☆(3月23日、鳥山保育園)



特集 平成30年度の 主な事業と予算

子育て環境の充実と 地域資源の活用に向けて

平成30年度的那須烏山市一般会計、7つの特別会計、企業会計の予算がまとまりました。

歳入では、普通交付税の合併算定替が縮減を開始して3年目となり、財源の確保がますます困難な状況です。

歳出では、少子高齢化の影響による扶助費の増加や老朽化が著しい公共施設の長寿命化や再編・統廃合など、財政負担が増していく中で、一層厳しい財政運営が現実視されています。

このような中で、30年度は、「第2次総合計画」スタートの節目の年として、「市民と向き合う全員参加のまちづくりの推進」「厳しい財政状況の立て直し」「広域的な自治体間連携の強化」を3つの大きな柱として、本市が目指すべき将来像に向けて、課題解決のための事業展開を図ります。特に、ユネスコ無形文化遺産「烏山の山あげ行事」や「烏山城築城600年」「JR烏山線」といった地域資源を最大限活用し、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を踏まえた地方創生関連各種施策にも引き続き取り組んでいきます。

当初予算は、「選択と集中」の基本的考えのもと、「中長期財政計画」「公共施設等総合管理計画」に基づき、「財政健全化への取り組み」「地方創生総合戦力の着実な成果」を最大のテーマとし、編成を行いました。

今月号は、これから1年間、市ではどのような事業に取り組み、予算はどのように使われていくのかを紹介いたします。

30年度の予算の特徴

5つの第2次総合計画基本目標の中から、今年度新たに取り組む事業や継続的に行う事業など主なものを紹介します。

■安心できる子育てと健康な暮らしを支え合うまちづくり

【結婚・妊娠・出産・子育て支援の充実】新規事業として、私立保育園の老朽化に伴う新園舎整備に対し支援を行う「保育所等施設整備支援事業」、烏山放

課後児童クラブの運営施設を、こども館から烏山小学校南舎へ移転するための「放課後児童クラブ施設整備事業」に取り組みます。また、産後2週間健診及び出産後早期から心身の状態を確認する「妊産婦健康診査・産後支援事業」、市内の保育園や認定こども園、

小規模保育事業所などでの延長保育、一時預かり保育、特別支援保育事業の実施や、那須南病院での病児保育事業を実施することで保護者が安心して子どもを預けられる環境を整備するための「特別保育事業」を拡充します。そのほか、「こどものインフルエンザ予防接種助成事業」を継続して取り組みます。

【健康・保健・医療の充実】若い世代の特定健診受診や団塊の世代の健康づくりへの参加に向けた健康マイレージ事業などの「健康づくり事業」を継続して取り組みます。

【夢を持ち、夢の実現に向けて歩む力をはぐくむまちづくり】

【学校教育の充実】新たに市内すべての小・中学校に、児童・生徒の名簿や成績の管理データを一元管理する校務支援ソフト導入のため「教育情報ネッ

トワーク設備事業」を拡充し、学校教育の更なる充実を図ります。また、「英語コミュニケーション推進事業」として小・中学校に外国語指導助手（ALT）の配置や、公立幼稚園・保育園への派遣を継続して行います。

【生涯学習機会の充実】なすから英語塾の外国語指導員を派遣し、ユネスコ無形文化遺産登録を契機とした外国人誘客（インバウンド）に対応すること

を目的とした観光ガイド養成を強化するための「グローバル人材育成事業」、小学校高学年を対象としたイングリッシュキャンプを実施するための「イングリッシュセミナー事業」、市武道館の付帯施設（舗装や広場設備など）の整備などを継続して行います。

【文化の振興】「ジオパーク構想推進事業」として、築城600年を迎える烏山城跡を重要なジオサイトと位置づけ、記念事業を実施するとともに、文化財保護と交流人口増加の観点からジオパーク構想の推進を図ります。また、ユネスコ無形文化遺産「烏山の山あげ行事」を重要な地域資源とし、山あげ行事企画展の開催、烏山山あげ保存会や山あげ道具類保存修理への支援のため「ユネスコ無形文化遺産保存事業」を継続します。

【地域資源の魅力創出と産業活力による賑わいあふれるまちづくり】

【雇用の確保】地域おこし協力隊員を2名増員し、地域活性化を推進するた

めの「地域おこし協力隊事業」、男女共同参画計画に基づきフォーラムを実施するための「男女共同参画推進事業」を拡充します。

【農林水産業の振興】 制度改正に伴う農業委員と新設された農地利用最適化推進委員により、耕作放棄地の解消などを行う「農業委員会運営費」や、「八溝そばブランド力向上支援事業」として、八溝地域で生産されたそばの購入・販売に対し、市内の事業者や生産者へ助成を行います。また、「中山かぼちゃブランド力向上支援事業」として、新規栽培や規模拡大、育苗施設整備を推進する生産者へ継続して助成を行います。

平成30年度の重点事業（○は新規事業）

- 安心できる子育てと健康な暮らしを支え合うまちづくり
 - 私立保育施設整備に対する助成事業… 2億1,209万4千円
 - 産後2週間健診・産後ケア事業… 101万5千円
 - 烏山放課後児童クラブ施設移転事業… 2,168万2千円
 - ・健康づくり（健康マイレージなど）事業… 109万9千円
- 夢を持ち、夢の実現に向けて歩む力をはぐくむまちづくり
 - 烏山城築城600年記念事業… 184万7千円
 - ・グローバル人材育成（なすから英語塾）事業 1,248万4千円
 - ・ユネスコ無形文化遺産保存事業… 733万2千円
 - ・武道館外構整備事業… 4,000万円
- 地域資源の魅力創出と産業活力による賑わいあふれるまちづくり
 - DESTINATIONキャンペーン関連等観光PR事業 489万円
 - ・ユネスコ無形文化遺産活用推進事業… 603万1千円
 - ・中山かぼちゃブランド力向上支援事業… 100万円
 - ・八溝そばブランド力向上支援事業… 80万円
- 定住を促し安全で暮らしやすいまちづくり
 - 子育て応援・IJU促進住宅取得奨励金事業 1,500万円
 - JR烏山線利用促進事業… 22万4千円
 - ・民間賃貸住宅家賃補助事業… 500万円
 - ・住宅リフォーム助成事業… 451万5千円
- 市民と共に築く持続可能なまちづくり
 - 公共施設等マネジメント推進事業… 523万8千円
 - ・JR烏山線沿線まちづくり推進事業… 400万円
 - ・地域の学校を核とした地方創生事業… 55万円



子どもたちの笑顔あふれるまちづくりのために…。

【商工業の振興】 「空き店舗対策新規出店者開業費用支援事業」として、市内の空き店舗を活用して出店を行う新規開業者に対して開業費用の一部を助成します。また、商店などで共通して利用できる「プレミアム付商品券発行支援事業」、優良企業の誘致をねらいとし、企業立地奨励金の交付や事業用地などの情報提供制度の充実を図るため「企業誘致事業」を継続します。

【観光の振興】 「観光振興費」として、DESTINATIONキャンペーン（D.C.）のPR強化やまちなか観光ルートの拡充、まちなか観光サイト機能を強化するなど観光の振興を図ります。また、GPS機能を活用した山あげ祭ま

るわかり情報提供システムの機能を強化するなど「ユネスコ無形文化遺産活用推進事業」についても拡充します。

【住環境の充実】 「JR烏山線利用促進事業」を新規事業として、職員出張時に使用するためのJR烏山線利用回数券を購入し、全庁を挙げてJR烏山線利用向上を図ります。また、各世代をターゲットとし、「定住促進住まいづくり事業」「住宅リフォーム助成事業」「民間賃貸住宅家賃補助事業」や、コンパクトシティ化などに向けた「立地適正化計画策定事業」を継続します。

■定住を促し安全で暮らしやすいまちづくり

県防災行政ネットワーク再整備を行うとともに、防災行政無線・防災メールなどの運用や那珂川、荒川の浸水想定区域見直しに伴い、ハザードマップの更新を行うほか、引き続き自主防災組織活動の活性化などを図ります。

■市民と共に築く持続可能なまちづくり

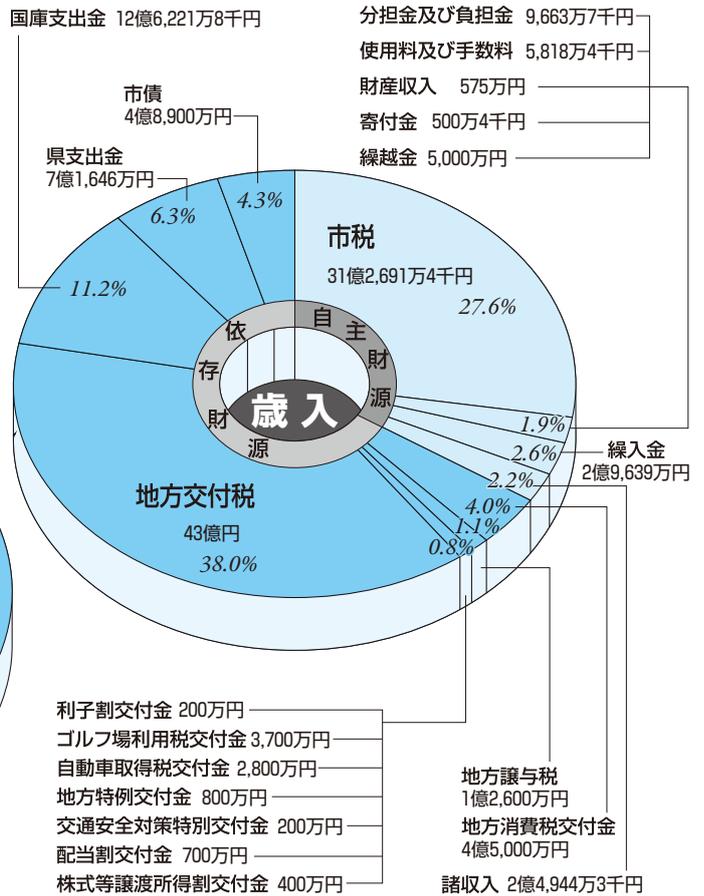
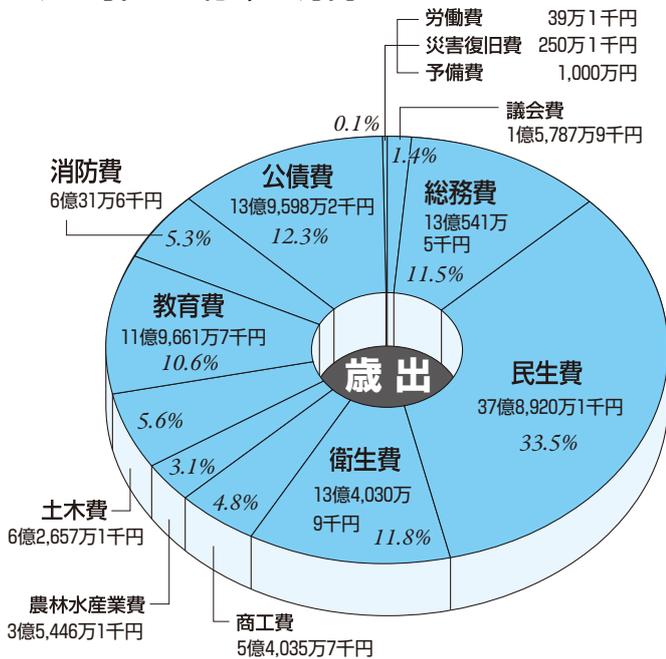
【市民の地域コミュニティ強化と協働のまちづくりの推進】 「JR烏山線沿線まちづくり推進事業」として、地域資源を生かしたローカルブランド向上やJR烏山線利用促進プロモーションなどに取り組みすることで、烏山線乗車人数増加を図ります。また、「地域の学校を核とした地方創生事業」では、烏山高校と連携し、JR烏山線沿線や高根沢町と連携した魅力発掘などをテーマとした地域課題解決学習「烏山学」の運営を行うことで、地域発展に貢献する人材の育成を図ります。

一般会計当初予算は 113億2千万円

一般会計は、「第2次総合計画」「まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づく各種施策に取り組みながら、私立保育園の園舎改築や畜産施設整備への支援、企業立地奨励金や介護保険特別

一般会計

30年度 113億2,000万円
 前年度 110億4,500万円
 差引 2億7,500万円



【歳入】 主なものとして、市税は、前年度比7104万4千円(2.3%)増とし、総額で31億2691万4千円となりました。地方交付税は、合併算定替の縮減が3年目となり、更なる減額が想定されるため、29年度の実績を勘案し、前年度から1億円減額の43億円としました。このうち普通交付税は38億円、特別交付税は5億円としました。国庫支出金は、私立保育園の園舎改築に伴う保育所等整備費交付金や子どものための教育・保育給付費負担金の増額などにより、前年度比2億3940万1千円(23.4%)増の12億6221万8千円としました。繰入金は、財源不足を財政調整基金等から繰り入れるものですが、前年度比5576万3千円(23.2%)増の2億9639万9千円としました。市債は、引き続き発行の抑制に努め、前年度比110万円(0.2%)増の4億8900万円としました。そのうち、合併特例債は前年度比1070万円(18.5%)減の4720万円としました。臨時財政対策債は、29年度の実績と国の地方財政計画を勘案し、前年度比同額の4億円としました。

【歳出】 主なものとして、議会費は、議場用音響設備改修工事の増額により、前年度比1332万9千円(9.2%)増の1億5787万9千円としました。総務費は、公共施設等マネジメント推進事業費や地域おこし協力隊事業費、選挙費の増額などにより、前年度比6197万4千円(5.0%)増の13億541万5千円としました。民生費は、保育所等施設整備支援事業費や私立保育施設運営委託事業費、介護保険特別会計繰出金の増額などにより、前年度比2億9634万3千円(8.5%)増の37億8920万1千円としました。衛生費は、塵芥収集処理費における広域行政事務組合負担金や簡易水道事業特別会計繰出金の減額により、前年度比3010万2千円(2.2%)減の13億4030万9千円としました。農林水産業費は、畜産振興費などの増額はあるものの、芳賀台地土地改良推進事業費の減額により、前年度比1229万6千円(3.4%)減の3億5446万1千円としました。商工費は、企業誘致事業費や観光振興費、ユネスコ無形文化遺産活用推進事業費などの増により、前年度比5944万6千円(12.4%)増の5億4035万7千円としました。土木費は、下水道事業特別会計繰出金の増額はあるものの、道路保全費や道路整備費、橋りょう等維持管理費の減額などにより、前年度比35万4千円(0.1%)増の6億2657万1千円としました。消防費は、栃木県防災行政

特別会計

■国民健康保険(事業勘定)		■介護保険	
30年度	33億8117万8千円	30年度	26億7750万円
前年度	41億6611万8千円	前年度	25億5020万円
■国民健康保険(診療施設勘定)		■農業集落排水事業	
30年度	6590万8千円	30年度	6000万円
前年度	7352万3千円	前年度	5710万円
■熊田診療所		■下水道事業	
30年度	6123万円	30年度	3億9270万円
前年度	5174万3千円	前年度	4億1050万円
■後期高齢者医療		■簡易水道事業	
30年度	3億4871万4千円	30年度	8525万5千円
前年度	3億1681万3千円	前年度	1億407万4千円

企業会計

■水道事業(公営企業会計)		□資本的収入	
□収益的収入		30年度	3893万9千円
30年度	5億5409万9千円	前年度	4184万2千円
前年度	5億5997万6千円	□資本的支出	
□収益的支出		30年度	3億4022万8千円
30年度	4億7209万4千円	前年度	2億7947万8千円
前年度	4億9652万3千円		

市民1人・1世帯あたりに使われる予算

○人口 27,161人
○世帯数 10,618戸
(平成30年1月1日現在の住民基本台帳人口)

一般会計 113億2千万円 41万6774円/人 106万6114円/世帯 	議会費 1億5787万9千円 5813円/人 1万4869円/世帯  議会運営のために	総務費 13億541万5千円 4万8062円/人 12万2944円/世帯  市のさまざまな総合運営のために	民生費 37億8920万1千円 13万9509円/人 35万6866円/世帯  市民の福祉のために	衛生費 13億4030万9千円 4万9347円/人 12万6230円/世帯  健康診断・予防接種、ごみの回収処理のために	農林水産業費 3億5446万1千円 1万3050円/人 3万3383円/世帯  農業振興、農地保全のために
商工費 5億4035万7千円 1万9895円/人 5万891円/世帯  商工業の育成・観光事業の推進のために	土木費 6億2657万1千円 2万3069円/人 5万9010円/世帯  市道整備・公園・下水道整備などのために	消防費 6億31万6千円 2万2102円/人 5万6538円/世帯  消防活動のために	教育費 11億9661万7千円 4万4056円/人 11万2697円/世帯  義務教育・生涯学習の推進・スポーツ振興のために	公債費 13億9598万2千円 5万1397円/人 13万1473円/世帯  市の借入金の返済のために	その他 1289万2千円 474円/人 1213円/世帯  労働費(臨時雇用)・予備費など

特別会計は前年度と比べると、国民健康保険の事業勘定の歳入・歳出は、18・8%減の33億8117万8千円、診療施設勘定は10・4%減の6590万8千円としました。そのほか、熊田診療所は18・3%増の6123万円、後期高齢者医療は10・1%増の3億4871万4千円、介護保険は5・0%増の26億7750万円、農業集落排水事業は5・1%増の6000万円、下水道事業は4・3%減の3億9270万円、簡易水道事業は18・1%減の8525万5千円としました。

企業会計の水道事業は、前年度と比べて、収益的収入を1・0%減の5億409万9千円、収益的支出を4・9%減の4億7209万4千円としました。また、投資的経費である資本的収入は6・9%減の3893万9千円、資本的支出は21・7%増の3億4022万8千円としました。

特別会計・企業会計

ネットワーク再整備工事負担金や操法大会費の増額により、前年度比1387万4千円(2・4%)増の6億31万6千円としました。教育費は、武道館施設整備費や南那須中学校施設整備費、各小・中学校スクールバス運行費の減額などにより、前年度比8450万円(6・6%)減の11億9661万7千円としました。



新旧年度予算を審議・可決

平成30年第1回市議会3月定例会が2月27日(火)から3月13日(火)までの15日間の日程で開かれ、平成30年度当初予算や29年度補正予算、条例の制定及び一部改正など40議案が原案どおり可決されたほか、専決処分2件について報告しました。

詳しくは、議会事務局 ☎0287-88-77114までお問い合わせください。

30年度当初予算

30年度の一般会計と7つの特別会計及び企業会計の当初予算が決まりました。詳しくは、2〜5ページをご覧ください。

29年度予算は9会計を補正

29年度一般会計の歳入・歳出それぞれ287万2千円減額し、補正後の予算総額を116億7174万3千円としました。

特別会計では、国民健康保険の事業勘定を1億1212万9千円減額し、40億5754万9千円とし、診療施設勘定についても623万7千円減額し、6764万4千円としました。また、熊田診療所は、185万2千円減額し、5182万円。後期高齢者医療は、859万2千円増額し、3億2540万5千円。介護保険は1億185万9千円増額し、27億1328万3千円。農業集落排水事業は、10万8千円減額し、5699万2千円。下水道事業は15万3千円増額し、4億1767万6千円。簡易水道事業は26

万8千円増額し、1億1631万円としました。

企業会計の水道事業は、収益的収入を166万3千円減額し、5億5831万3千円、収益的支出を243万9千円増額し、5億576万4千円に。また、資本的収入を129万1千円増額し、4313万3千円、資本的支出を1906万6千円増額し、3億419万9千円としました。

条例の制定と一部改正

・ 介護保険法の改正により、指定居宅介護支援事業者の指定等について、栃木県から権限が市に移譲されることに伴い、指定居宅介護支援等の事業の基準等を定めるため、「市指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例」を制定しました。

・ 条例、規則及び規程の公布手続きを見直すため、「市公告式条例」を一部改正しました。

・ 一般職員及び再任用短時間勤務職員の

夏季休暇の適正化を図るため、「市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例」を一部改正しました。

・ 市に設置する鳥獣被害対策実施隊の隊員の報酬額を定めるため、「市非常勤特別職の職員の報酬及び費用弁償に関する条例」を一部改正しました。

・ 29年8月の人事院勧告に基づき、国家公務員と同様に本市職員の給料及び勤勉手当の引き上げ等を行うため、「市職員給与条例及び市診療所医師の給与の特例に関する条例」を一部改正しました。また、職員の給与改定に準じ、市長、副市長及び教育長の期末手当を引き上げたため、「市長、副市長及び教育長の給与及び旅費に関する条例」を一部改正しました。

・ 旅費支給事務の適正化を図るため、「市職員等旅費条例」を一部改正しました。

・ 30年度からの新国保制度導入に伴い、基金の処分に係る規定について所要の改正を行うため、「市国民健康保険財政調整基金設置及び管理条例」を一部改正しました。

・ 地方税法施行規則の一部が改正されたことに伴い、「市税条例」を一部改正しました。

・ 国民健康保険税率、減額措置に係る軽減判定所得の算定方法を変更するため、「市国民健康保険税条例」を一部改正しました。

・ 国民健康保険法の一部改正に伴い、国民健康保険運営協議会の用語の定義が改正されたことにより、「市国民健康保険条例」を一部改正しました。

・ 高齢者の医療の確保に関する法律の一部改正に伴い、新たに住所地特例を受けるとなる被保険者を、保険料を徴収すべき被保険者とするため、「市後期高齢者医療に関する条例」を一部改正しました。

・ 七合診療所興野出張所の診療日、休診日を変更するため、「市国民健康保険診療所設置、管理及び使用料条例」を一部改正しました。

・ 第7期介護保険事業計画策定に伴い、平成32年度までの介護保険料率を改定すること等のため、「市介護保険条例」を一部改正しました。

・ 地域密着型サービス等の事業の基準等について、国が省令で定める基準等が改正されたことに伴い、「市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営の基準等に関する条例」「市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営の基準等に関する条例」「市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援に係る介護

予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例」を一部改正しました。

・就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律の一部改正に伴い「市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例」を一部改正しました。

・都市緑地法等の一部改正による都市計画法の一部改正により、「市企業の誘致及び立地を促進する条例」を一部改正しました。

・道路法施行令の一部改正に伴い、道路

占用料を改定するため「道路占用料徴収条例」を一部改正しました。

・都市公園・市民公園の設置等に係る使用料を現態に即して見直すとともに、現行条例の規定順や規定内容を見直し、都市公園法の規定順や規定内容に合わせるため、「市都市公園設置、管理及び使用料条例及び市民公園設置、管理及び使用料条例」を一部改正しました。

教育長と農業委員会委員の人事

・教育長について、30年3月31日で任期満了を迎える田代和義氏を、引き続き教

育長として任命しすることについて同意されました。

・農業委員会委員について、農業委員会等に関する法律の一部改正により、委員の選出方法がこれまでの公選制から市町村が議会の同意を得て任命する方法に改められたことから、現農業委員会委員の任期が30年5月21日任期満了を迎えることに伴い、久郷義美氏、塩野目富夫氏、齋藤勉氏、越雲宏氏、堀江恒夫氏、増子謙一氏、小川祥一氏、鈴木秀之氏、荒井喜代子氏、関閣夫氏、金子博氏、塩野哲男氏、中山忠夫氏、興野礼子氏、滝田功

議決事項

30年度から5年間を計画期間とする「第2次総合計画・基本構想」の策定について可決されました。

その他

損害賠償の額の決定及び和解に関する2件の専決処分について報告しました。

那須烏山市教育委員会会報

29年度「第4四半期」1月～3月

第1回教育委員会（1月19日金）

○区域外就学の許可を承認

第2回教育委員会（2月14日水）

○就学指定校の変更を承認

○区域外就学の許可を承認

○29年度市教育費予算の補正を決定

○30年度市教育費予算を決定

第3回教育委員会（3月8日木）

○平成30年度小学校、中学校及び義務教育学校職員定期異動方針を決定

第4回教育委員会（3月23日金）

○区域外就学の許可を承認

○市生涯学習指導員の任命を承認

○市烏山地区公民館管理人の委嘱を承認

承認

○市社会教育指導員の任命を承認

○30年度市教育委員会関係職員の人事異動内示を承認

○30年度小学校、中学校及び義務教育学校職員定期異動を承認

○市教育委員会関係規則の一部改正を決定

▼その他の出席

・1月7日(日)・・・成人式出席

・1月14日(日)・・・市駅伝競走大会出席

・2月14日(水)・・・境小学校授業見学

・3月12日(月)・・・市内中学校卒業式出席

・3月19日(月)・・・市内小学校卒業式出席

・3月30日(金)・・・退職者辞令交付式出席

♪議場でコンサート♪ 烏山高の生徒がサクスを演奏

市議会では、市民に親しまれる議会を目指し、3月2日(金)、市議会定例会の開会前に、議場でコンサートを開きました。コンサートには、烏山高吹奏楽部で2年の渋井海さん、堀江月星さん、1年の櫻井愛莉さん、小川杏奈さん、市川桜さんの5人が出演。市執行部や市議、市民など約80人が見守る中、生徒たちは、サクソフォン五重奏のための叙情組曲「エウロパ」を披露し、議場内に美しい音色を響かせました。

演奏した渋井さんは、「緊張したけれど、普段は入ることのない議場で演奏することができて良い思い出になった」と笑顔を見せていました。



議場でサクスを演奏する烏山高の生徒。

人事異動

4月1日付けで、市職員の人事異動がありましたのでお知らせします。

主な変更点は、「①総合政策課秘書政策グループ（以下G）・広報統計Gは、『秘書政策G』『広報広聴G』『情報統計G』に再編」「②税務課管理収税Gは、『収納管理G』『徴収対策G』に分割」「③都市建設課監理Gは、『管理G』に改める」の3点です。これにより、平成30年度は今までと同様に17課局を維持しつつ、2G増の46G体制となります。

また、職員数については、29年度退職による減があったものの、30年度新採用による増や再任用職員の確保などにより、29年度と同数の249人となりました。

◎印＝昇任、■印＝新採用、(再)＝再任用、(一)内＝異動前の職、課内の並びは順不同となります。

■総合政策課

- 課長 石川浩（商工観光課長）
- 秘書政策G課長補佐兼総括 高野成彰（秘書政策G課長補佐）
- 秘書政策G課長補佐 小原沢直子（秘書政策G係長）
- 広報広聴G課長補佐兼総括 塩野目豊一（広報統計G課長補佐兼総括）
- 情報統計G課長補佐兼総括 五味渕徹（農政課農地調整G課長補佐）
- 専門員（再）水沼透（新再任用）

■まちづくり課

- 定任推進G課長補佐兼総括 井上剛（商工観光課商工振興G課長補佐兼総括）
- 定任推進G課長補佐 尾崎さゆり（上水道課業務G課長補佐）
- 主任 伊藤大道（栃木県総合政策部地域振興課一付主任）

■総務課

- 参事兼課長 福田守（課長）
- 主査 大橋智江（生涯学習課主査）

- 主任 平野和隆（主事）
- 主任 丸山美由紀（主事）
- 主事 星貴裕（栃木県総合政策部市町村課一付主事）
- 主事 鈴木紀江

■税務課

- 収納管理G主幹兼総括 高濱裕子（健康福祉課生活福祉G主幹兼総括）
- 徴収対策G課長補佐兼総括 東原一吉（係長）

- 係長 川島広明（まちづくり課係長）
- 主査 郡司直哉（主任）
- 主任 塩野淳（主事）
- 主任 大塚勇人（主事）
- 主事 渡邊貴也
- 主事 直井拓弥

■市民課

- 国保医療G課長補佐兼総括 村山和義（都市建設課係長）
- 総合窓口G課長補佐兼総括 小林重信（係長）

- 係長 塩野目庸子（議会事務局係長）
- 係長 平山航太（学校教育課係長）
- 主査 國井保人（主任）
- 専門員（再）黒崎秋子（専門員）
- 主任 藤井梨恵（主事）
- 主事 奥澤要

■健康福祉課

- 生活福祉G課長補佐兼総括 塩野目敬章

（生活福祉G課長補佐）

- 介護保険G主幹兼総括 皆川康代（税務課管理収税G主幹兼総括）
- 係長 若林香織（主査）
- 係長 鈴木徳之（主査）
- 係長 鈴木明美（主査）
- 主査 佐藤剛（総務課主査）
- 主事 小島悠禎（都市建設課主事）
- 主事 手塚美咲

■いづも課

- 課長 神野久志（課長兼子ども館長）
- 主事 田村沙織

◆子ども館

- 主幹兼館長 安藤準一（学校教育課学校給食センター主幹兼所長）
- 専門員（再）羽石徳雄（専門員）
- 保育士 小堀有希（にこにこ保育園保育士）

◆七合保育園

- 保育士主査 阿部孔子（保育士主任）
- 保育士主査 神永加奈子（保育士主任）
- 業務員（再）栗洋子（業務員）

◆すくすく保育園

- 保育士副主幹 五味渕万里（保育士係長）

◆にこにこ保育園

- 保育士係長 関谷恵（つくし幼稚園教諭係長）
- 保育士主査 富田百恵（保育士主任）
- 保育士専門員（再）渡辺喜代子（保育士専門員）

○保育士 荒井直緒(つくし幼稚園教諭)
新保育士 竹内翔平

◆つくし幼稚園

○囑託園長 川原良明(囑託園長)

■農政課

○農地調整G課長補佐 吉葉由喜子(農政振興G課長補佐)

○係長 各務香織(主査)

○主査 零保友(税務課主任)

■商工観光課

○課長 小原沢一幸(まちづくり課定住推進G主幹兼総括)

○商工振興G課長補佐兼総括 吉葉克則(環境課環境G課長補佐兼総括)

○係長 前沢恵子(健康福祉課係長)

新主事 田嶋勇介

■環境課

○課長 小林貞大(総務課付課長)

○環境G課長補佐兼総括 江守浩史(文化振興課文化振興G課長補佐)

○専門員(再) 佐藤新一(専門員)

○主事 佐藤諒(税務課主事)

■都市建設課

○管理G課長補佐兼総括 永島一広(監理G課長補佐兼総括)

○管理G課長補佐 川俣由利子(監理G課長補佐)

○地籍調査G主幹兼総括 荒井隆郎(地籍調査G主幹兼総括)

籍調査G課長補佐兼総括)

○主査 小室貴紀(健康福祉課主査)

○技師主査 齋藤舞(主任技師)

○専門員(再) 零友一(専門員)

○専門員(再) 小口久男(専門員)

■上下水道課

○主査 高瀬浩明(まちづくり課主査)

○専門員(再) 奥澤隆夫(専門員)

○専門員(再) 粕谷一男(新再任用)

■会計課

新主事 和氣友咲

■議事事務局

○議事事務局長 大谷啓夫(学校教育課総務教育G主幹兼総括)

○主査 藤田真弓(税務課主査)

新主事 増子莉紗

■学校教育課

○参事兼課長 岩附利克(課長)

○総務教育G主幹兼総括 齋藤浩文(総合政策課秘書政策G主幹兼総括)

○総務教育G課長補佐 石川昌幸(市民課係長)

◆学校給食センター

○主幹兼所長 塩野育雄(市民課総合窓口G主幹兼総括)

◆境小学校

○業務員(再) 笹崎洋子(業務員)

◆烏山中学校

○司書主査 中山美智代(荒川小学校司書主査)

■生涯学習課

○生涯学習G課長補佐兼総括 山村信(生涯学習G・公民館G課長補佐兼総括)

○公民館G課長補佐兼総括 益子ゆかり(市民課国保医療G課長補佐兼総括)

○主任 谷口結莉花(主事)

○主事 羽石真久(商工観光課主事)

新主事 永山綾香

■文化振興課

新学芸員 石下翔子

新主事 山田佳苗

■派遣職員

○南那須地区広域行政事務組合―総務課付課長 澤村誠一(同事務組合―総務課付主幹)

○南那須地区広域行政事務組合―総務課付主幹 岡誠(健康福祉課介護保険G課長補佐兼総括)

○栃木県総合政策部市町村課―総務課付主任 野上紗希(会計課主事)

○栃木県総合政策部地域振興課―まちづくり課付主任 益子昂大(環境課主任)

○栃木県国土整備部烏山土木事務所―都市建設課付主任 木嶋健太(同)

○栃木県税務事務所―税務課課長補佐 東原一吉(税務課係長)

○栃木県後期高齢者医療広域連合―市民課付主任 岡真史(同)

■退職職員

○参事兼総合政策課長 両方裕

○参事兼議事事務局長 水沼透

○環境課長 薄井時夫

○上下水道課係長 粕谷一男

○学校教育課烏山中学校司書主幹 和久貴子

○市民課国保医療G課長補佐 深野葉子

○子ども課にこにこ保育園保育士係長(子育て支援センター) 森林さおり

○商工観光課主査 大坪美香

○議事事務局主任 市村好絵

○子ども課主事 益子美礼

○総合政策課専門員 坂本正一

○総務課専門員 清水敏夫

○市民課七合診療所専門員 諸澤光男

○子ども課子ども館専門員 佐藤久子

○生涯学習課専門員 齋藤進



南那須医師会が「在宅医療」テーマに研修会 在宅での看取りについて考える



様々な立場から在宅医療についての体験談が語られたシンポジウム。

南那須医師会、市、那珂川町による「南那須地区在宅医療介護連携研修会」が、3月11日(日)、烏山公民館で開かれ、地域住民約250人が参加しました。

基調講演では、那珂川町佐藤医院の佐藤充院長による「南那須地域の在宅医療の現状と課題」が講演され、病気になるも在宅での医療を希望する人がいる一方なかなか実現できない現状や、在宅医療のメリット・デメリットなどを紹介し、「これからは在宅でできる医療の限界を高める努力が必要」と述べました。

また、「このまちで最期まで生きるということ」をテーマとして、阿久津クリニックの阿久津昌子院長を座長に、医師訪問介護をする看護師、在宅医療を経験した地域住民によるシンポジウムが行われ、様々な立場から見た在宅医療のあり方や経験談などが語られました。在宅での介護の経験談を発表した城所潔さんは、「介護に困ったときは、まずは地域包括センターなどに相談することが大切。家族で対応できなかったことも周りのサポートで在宅での介護ができた」と話していました。

烏山城の魅力を学ぶ 烏山築城600年講演会

3月2日(金)、今年築城600年を迎えた烏山城をテーマに氏家法人会那須烏山支部、那珂川支部による「烏山築城600年を迎えて／城跡ウォッチャーが語る烏山城の観光資源」が那須烏山商工会館で開かれ、約150人が参加しました。

講演会では、北海道から沖縄までの百名城をはじめ、多くの城跡を見て回った城跡ウォッチャーの木澤喜人さんを講師に、国内の城

の変遷や城巡りの面白さ、石垣や堀が残る烏山城の特徴などが解説されました。その後、郷土史研究家の平塚英教さんによる「那須家と烏山城」による発表が行われ、那須氏ゆかりの寺社などが解説されました。

参加した鈴木享子さん(那珂川町)は、「烏山城は、烏山女子高に通っていた時に行ったのが最後だったが、講話を聞いてまた行つてみたいと思った」と話していました。



木澤さんによる解説に耳を傾ける参加者。

地域雇用創造協議会

成果物公開セミナーで新商品を報告

那須烏山市地域雇用創造協議会による成果物公開セミナーが、2月22日(木)、23日(金)に同協議会で開かれました。

同協議会では、事業拡大や創業による地域の雇用創出を目的として、地域資源を活用したメニューや新商品、観光コースの開発など様々な取り組みを行っています。

成果物公開セミナーでは、山あげ祭をテーマとして平成29年度に開発した「下野の国那須烏山山あげ弁当」「鬼おろしうどん」などのメニュー4点や、「手ぬぐい」「山あげ祭の山うちわ」など新商品3点のほか、「山描き体験ツアー」「ヘルスツーリズムでなすから満喫」といった観光コース2点を、開発したメニューの試食を交えながら報告しました。

開発したメニューや新商品は、昨年の山あげ祭より市内店舗で販売されています。取り扱い店舗情報や商品を取り扱ってみたいなど詳しくは、同協議会 ☎0287-83-8154までお問い合わせください。



様々な商品が紹介された公開セミナー。



「鬼おろしうどん」の試食をする参加者。

1年間の
取り組みを発表

まちづくり研究会成果報告会



上：研究成果を報告する同研究会の福島委員長。

下：各団体によるポスターセッション。

本市をテーマとした研究などを行うことで地域活性化につなげようと活動する「那須烏山市まちづくり研究会」（福島二朗委員長）による活動報告会が、3月4日(日)、烏山公民館で開かれ、地域住民など約130人が訪れました。

当日は、同研究会に所属する足利工業大、宇都宮共和大、白鷗大、文星芸術大、帝京大、烏山高のほか、NPO法人野うさぎくらぶ、NPO法人クロスアクションにより1年間の活動が報告されました。市民カフェ35番館によるコーヒーの無料提供も行われ、来場者はコーヒーを堪能しながら発表に耳を傾けました。

発表を聞いた中山成子さん（藤田）は、「学生など若者が立ち上

がり、魅力や課題を発見することは良いことだと思った。アイデアも素晴らしく、活用されれば地域活性化につながると思う」と話していました。

各学校や団体の研究テーマは次のとおりです。

足利工業大：「現代版烏山線鉄道唱歌」の製作と沿線の地域活性化に向けた取り組み／「まちづくりを視点とした近代化遺産の保存と活用に関する一考察」宇都宮共和大：「グランピング機能を併設した泊まれる道の駅那須烏山」白鷗大：「スマホを活用した音声検索可能なデータベースの活用について」文星芸術大：「朝日観音堂の諸像と石造物」帝京大：「山あげ祭と観光烏山高」：「私たちの地域連携活動」NPO法人野うさぎくらぶ：「みんなの輝き」NPO法人クロスアクション：「地域資源を生かした観光地域づくり」

福祉大会 社会福祉 振興

「音の旅人くみ∞せい」が出演 移住者の目線から本市の魅力語る

地域の福祉の充実を推進することを目的に、市社会福祉協議会（丸山真一会長）による「第13回那須烏山市社会福祉振興大会」が、2月24日(土)、南那須公民館で開かれ、福祉関係者や地域住民など約130人が参加しました。

式典では、福祉やボランティアの分野で活躍した37の個人・団体に丸山会長から表彰状や感謝状が贈られました。

続く記念行事では、昨年7月に茨城県から本市月次に移住し、「音の旅人くみ∞せい」と

して音楽活動をする川崎くみさんと清一さん夫婦によるトーク&木の笛・ギター演奏が披露されました。車中泊をしながら全国各地を回り、活動をしてきた二人が本市に移住先に選んだ理由や本市の魅力が語られ、参加者は本市が持つ魅力を再確認する良い機会となりました。また、森のオカリナ「樹音」と呼ばれる木の笛とギターにより、歌謡曲や童謡などが演奏され、会場中に美しいメロディーが響き渡りました。

二人は、「那須烏山市は大自然が育てた美味しい食物や、春の陽



樹音とギターの演奏を披露する音の旅人くみ∞せい。

気のように温かい人であふれていることが魅力。これから、音楽活動を通じてまちづくりに貢献していきたい」と話していました。

シリーズ 市の文化財 第83回



市指定有形文化財(絵画)
花咲爺図(個人蔵)

烏山出身の南画家牧野牧陵が、明治14年(1881)に描いた作品です。縦189センチ、横124センチ、紙本大幅の作品で、日本の代表的な御伽話「花咲爺」が画題となっています。正直者の爺様(中央)が、殿様(中央上)や大勢の家来の前で枯木に花を咲かせ、その不思議な出来事に、驚き喜ぶ殿様や家来達の姿が生き生きと描かれています。

画面の左に人物、右に巨木を配した画面構成も見事で、円熟期を迎えた牧陵の作風が良く表れています。



野上舟戸自治会。



金井連合自治会。

野上舟戸自治会と 金井連合自治会で 初の市政懇談会

住民の意見を市政に反映させようと、3月に2つの自治会で「市政懇談会」が開かれました。

10日(土)には、野上舟戸自治会(水井忠自治会長)による市政懇談会が舟戸避難センターで開かれ、自治会役員や会員約20人が参加しました。懇談会では、「防災無線設置の要望」や「自衛隊ヘリコプターの発着訓練時の騒音への対応」など4つが議題として上げられました。

17日(土)には、あたご、金井、金三、南自治会で構成される金井連

合自治会(大野信行代表)による市政懇談会が初音のやすらぎ荘で開かれ、同連合自治会に所属する自治会の役員や班長約40人が参加しました。懇談会では、「高齢者の憩いの場として重要な役割を果たしてきた『やすらぎ荘』の存続について」が議題として出されました。

両市政懇談会には、川俣純子市長や國井豊副市長、田代和義教育長のほか、関係する各課長が出席し、議題に沿って、市の施策や今後の展望などを説明しました。

子どもたちの安全のために。ロータリークラブがランドセルカバー 交通安全協会が反射タスキを寄贈

■烏山ロータリークラブ

烏山ロータリークラブ(堀江竜也会長)が、市内5つの小学校に入学する新1年生156人に向けて黄色いランドセルカバーを寄贈しました。

3月13日(火)には、中央2丁目の松月庵で贈呈式が行われ、同クラブの会員らが田代和義教育

長や各小学校の校長、PTA会長にランドセルカバーを手渡しました。

40年前から続くこの活動。現在までに2万2506人の子どものためにランドセルカバーが配布されています。

堀江会長は、「子どもたちは地域の宝。黄色いランドセルカバーを付けることで、交通安全の一助

になれば嬉しい。そして、ぜひ、ケガのない6年間を送ってほしい」と話していました。

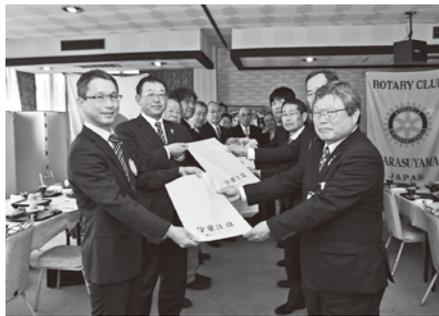
■那須烏山交通安全協会

3月20日(火)には、市役所南那須庁舎で反射タスキの贈呈式が行われ、那須烏山交通安全協会の篠崎昌久会長と川俣純子市長から田代和義教育長へ反射タスキ230本が寄贈されました。

これは、市と那須烏山交通安全協会が、子どもたちを交通事故から守るため、長年続けてられている活動です。

篠崎会長は、「反射タスキを積極的に利用してもらい、交通事故防止に役立ててほしい」と話していました。

寄贈されたタスキは、市内2つの中学校に入学する新1年生に配布されます。



上：ランドセルカバーを贈呈する烏山ロータリークラブの皆さん/下：反射タスキを贈呈する那須烏山交通安全協会の篠崎会長と川俣市長。

思い出の校舎や園舎とお別れ

卒業式・卒園式





4



2



1



3



7



6



5



9



8

卒業式シーズンとなった3月。市内の小・中学校、幼稚園、保育園でも続々と卒業式や卒園式が開かれました。12月には、南那須中、烏山中の2つの中学校で卒業式が行われ、214人が思い出の学び舎を巣立ちました。19日(月)には、荒川小、江川小、烏山小、境小、七合小の5つの小学校で卒業式が行われ、198人が校長先生から卒業証書を受け取りました。また、幼稚園や保育園からも大勢の園児が卒園しました。

ここでは、卒業・卒園の様子を写真でいくつか紹介します。



11



10



12

①②荒川小 ③④南那須中 ⑤⑥烏山小 ⑦⑧烏山中 ⑨⑩烏山保育園 ⑪⑫ここにこ保育園 ⑬⑭すくすく保育園 ⑮にじいろ保育園。



13



14



15



にじいろ保育園より。

若鮎駅伝大会・小学生駅伝大会

52チームが八溝路を駆け抜ける

3月4日(日)、大桶運動公園で、「第15回なすみなみ若鮎駅伝大会(南那須陸上競技協会主催)」と「第7回南那須小学生駅伝大会(南那須陸上競技協会、那須烏山市・那珂川町スポーツ少年団本部主催)」が開かれ、52チーム297人が健脚を競いました。

若鮎駅伝は、大桶運動公園を発着点に那珂川沿いを1周する6区間25キロのコース。県内外から37チームが参加する中、「文星芸大附A」が優勝しました。また、今回、10位以内に本市チームが2チーム入るなど本市出身の選手が大健闘しました。

同日行われた小学生駅伝には、本市

と那珂川町のスポーツ少年団など15チームが参加し、大桶運動公園を周回する5区間7・5キロのコースで激戦が繰り広げられました。

また、会場内では、JAなす南から、いちごやニラとたまごのスープ、那珂川町駅伝愛好会によってイノシシ肉を使ったタンタン汁や豚汁、うどんが提供され、選手の疲れを癒しました。結果は次のとおりです。

若鮎駅伝(上位3チーム及び本市チーム)

- ①文星芸大附A ②真岡高校 ③コウヤプロジェクト ④下江川RC ⑤鳥山高校 ⑥鳥高教員 ⑦鳥山土木事務所 ⑧那須南病院A ⑨NNTT栃木

小学生駅伝大会(本市チーム)

- RC ⑩JAなす南 ⑪那須南病院B
- 【男子の部】⑫七合ファイターズB ⑬境クラブA ⑭境クラブB ⑮南那須柔道A ⑯七合ファイターズA
- 【年少の部】⑰那須烏山クラブD ⑱境クラブC ⑲那須烏山クラブC ⑳南那須柔道B



上から、37チームが大桶運動公園を一齐にスタートした若鮎駅伝/大勢の応援の中、接戦を繰り広げる小学生駅伝/好評を博したJAや那珂川町駅伝愛好会によるいちごや豚汁の提供。



なすから健康マイレージ事業 抽選で2人に豪華景品を贈呈

市では、昨年4月から「なすから健康マイレージ事業」をスタートしました。この事業は、必ず健康診断を受け、市が主催する健康教室などに参加して、5ポイント達成で市内指定施設の500円分利用券に交換できる制度です。さらにその中から、お楽しみ抽選が3月1日(木)に川俣純子市長と國井豊副市長によって行われ、52人の中から、増子幸代さん(高瀬)と佐藤浩之さん(野上)の2人が選ばれました。19日(月)には、贈呈式が行われ、川俣市長からクローバーステーキハウスの食事券5000円分が手渡されました。



▲川俣市長から抽選会で当選した食事券を受け取る増子さん。

増子さんは、「初めて教室に参加して、継続することの大切さや運動の成果を実感することの楽しさを知ることができた。医者に行かずいつまでも健康でいられるようにこれからも継続したい」と話していました。



第19回梅まつり満開の梅を楽しむ

3月21日(水)、那須烏山市梅まつり実行委員会(笹沼英夫実行委員長)による「第19回梅まつり」が、なす南広域農機センターと中山梅園で開かれました。

これは、生産農家やJANAなす南、市などで組織する実行委員会が梅の生産復興や地域活性化につなげようと毎年この時期に開催しているものです。

当日は、季節外れの降雪に見

舞われながらも大勢の花見客でにぎわいました。会場では、JANAなす南果樹部会の生産者によつて作られた梅干しや中山そば、生産組合による手打ちそば、直売所による農産物の販売などが行われました。また、抽選会などの様々な催しが行われたほか、今年は初めて日光さる軍団による催しが行われ、花見客を

楽しませました。

▶上から、生産者によって作られた梅干しや中山かぼちゃを使った中山かぼちゃまんじゅうの販売/日光さる軍団によるパフォーマンスを見物する花見客/満開を迎えた中山梅園。

荒川でヤマメ釣祭り

3000人の太公望でにぎわう

那珂川南部漁業協同組合(大森一良組合長)による「ヤマメ釣祭り」が、3月3日(土)、荒川



川柳愛好家が腕試し 第46回栃木県川柳大会

3月18日(日)、栃木県川柳協会と南那須川柳会(篠崎酔月会長)共催による「第46回栃木県川柳大会」が、保健福祉センターで開かれ、市内外から84人の川柳愛好家が参加し、川柳の腕を競いました。

この川柳大会は、県内にある川柳会が1年ごとに輪番制で開催しているもので、本市では数年ぶりの開催となりました。

今大会では、事前に出される宿題として、「面白い」「素人」



まちのわだい

◇「広報なすからすやま」では、みなさんからの楽しい話題を募集しています。地域の行事や変わった出来事などをお知らせください。可能な限り取材に伺います。

総合政策課広報広聴グループ ☎0287-83-1112

高瀬大橋付近で開かれ、県内外から約300人が訪れました。

この日に向けて、同組合員に

よってヤマメ160キロ、イワナ40キロ合わせて約5000匹が放流され、早朝から大勢の人でにぎわいました。なかには、親子や孫を連れて釣りに来た参



▲ヤマメ釣りを楽しむ参加者（上下とも）。

加者も見られ、子どもたちは釣り方を教わりながらヤマメ釣りに挑戦していました。

大森組合長は、「釣りを通して川へ来ることで、川に親しみをもってもらい、水を汚染しないなど生活環境を考えてもらえば嬉しい」と話していました。

なすから恋活パーティー 7組のカップルが誕生

2月25日(日)、宇都宮市の結婚式場「ヴィラ・デ・マリアージュ 宇都宮」を会場に、「なすから恋活パーティー」(那須烏山市結婚相談所主催)が開かれ、男女29人が参加しました。

この事業は、若者同士の出会いを支援しようと企画・運営を(株)とちぎテレビに委託して行われたもので、今回で3回目となりました。

デザートビュッフェを楽しみながら、1対1のトークタイムやフリートークなども行われ、カップルとして成立した7組は、「南那須観光いちご園いちご狩りペア券」や「山あげ会館

入館ペア券」、「和紙の里和紙手すき体験ペア券」など本市にちなんだ5つの特典のほか、「栃木ブレックス観戦ペアチケット」が贈られました。

手塚さん・菊池さん 満100歳おめでとう！

3月13日(火)、手塚ウメさんが満100歳を迎えました。手塚さんは、平日の日中は介護施設のショートステイを利用し、休日は近所に住む家族のサポートを受けながら三箇の自宅を過ご



手塚さん。

しています。自宅で飼っている猫と遊ぶことが休日の楽しみになっているそうです。手塚さんは、「いつの間にか100歳になっていた」と笑顔を見せていました。

15日(木)には、菊池一雄さんが満100歳を迎えました。約1年前から妻のキヨさんと介護施設に入所し、一緒に過ごしています。「運動と健康的な食事」が長寿の秘訣と話す一雄さんは、料理が得意で



菊池さん。

女子サッカーで大活躍 川上茉耶さん (大女高3年)

大田原女子高サッカー部に所属する3年の川上茉耶さん(下川井)が、栃木県トレセン女子U-17(アンダー17)に選ばれるなど活躍しています。

川上さんは、兄直希さんの影響で小学1年から市内のFFC/Azulスポーツ少年団(現



「サッカーが好き」と話す川上さん。

YUZUHIA F.Cジュニアスポーツ少年団)でサッカーを始めました。当時、女子選手は川上さん一人。男子選手に混ざりながら練習を積み、試合にも出場していました。中学生からは、学校が終わった後に、大田原女子高サッカー部に通い、高校生と一緒に練習に励みました。

現在は、同高サッカー部の部長として部員をまとめる存在に。昨年10月には、第13回関東高校女子サッカー秋季大会に出場しました。個人で

90歳くらいまで台所に立ち、旬の食材を使った料理を作っていたそうです。一雄さんは、「100歳を迎えられたことに感謝でいっぱい。もっと長生きしたい」と話していました。

は、県内で16人が選抜されるトレセン女子U-17の選手として、2月に「関東トレセン女子U-17大会」に出場し、千葉県代表との試合ではゴールを決めるなど活躍を見せています。

川上さんは、「ここまで続けられたのは、小学生時代に指導してくれた監督やチームメイト、家族、そしてサッカーを始めるきっかけを作ってくれた兄のおかげ」と笑顔を見せ、「総体(全国高等学校総合体育大会)の県予選では優勝を目指したい」と話していました。

おめでとう

赤ちゃん名 (保護者住所)
 大橋 歩 (誠・智子) 旭1丁目
 宮川 愛 (徠・隼汰・杏奈) 旭2丁目
 興野 瑞季 (陽洋・瞳) 興野
 斉藤 壮真 (真・はる香) 野上
 権 准 (良・成美) 城東
 横山 愛 (桜・鎮・美智子) 南1丁目
 小鍋 未 (来・壮史・愛美) 月次
 ※ここでは、保護者等の了解が得られた情報のみを掲載しています。

スポーツの結果

●第7回那須烏山市グラウンド・ゴルフ親善交流大会 (3月11日(日)、烏山運動公園)
 「男性の部」▽優勝：久保田勝三(神長)▽準優勝：福島健一(蛇姫会)▽第3位：形山貞夫(滝田) 「女性の部」▽優勝：高久サト子(滝田)▽準優勝：伊藤キサ(興野)▽第3位：佐藤トシ(蛇姫会)

ふるさと応援寄附金

岡村和則様(岡山県岡山市)から5千円、生沼理志様(神奈川県川崎市)、山口恵子様(埼玉県さいたま市)から各1万円、山口普久様(埼玉県さいたま市)から3万円、匿名希望者様14人から合計19万7621円が本市に寄附されました。

一般寄附金

匿名希望者様から3300円が本市に寄附されました。

平成29年度 コミュニティ助成事業報告

財団法人自治総合センターの平成29年度コミュニティ助成事業(宝くじの助成)を活用し、高峰パークタウン自治会では自治会館を建設しました。今後、自治会内のコミュニケーションを深める場として活用していきます。
 ■まちづくり課 ☎0287-83-1151



JR烏山線沿線のサイクリングマップができました!



JR烏山線沿線の那須烏山市や高根沢町などで構成する「JR烏山線沿線まちづくり推進協議会」では、両市町を巡るサイクリングコースを掲載したサイクリングマップを作製しました。
 マップはA2判カラーで、烏山駅周辺や宝積寺駅周辺を巡るコース、烏山線沿線の比較的平坦な30キロ約2時間のコース、両市町を1周するアップダウンの多い111キロ約4時間40分のコースといった4コースを紹介しています。そのほか、観光スポットや飲食店、おすすめのお土産品なども掲載されています。市内では、山あげ会館や龍門ふるさと民芸館のほか、市役所総合政策課で配布されています。
 また、併せてPR動画「遠路はるばる」も作製し、動画投稿サイト「YouTube」にもアップしています。

編集後記

○今年度も引き続き担当することになりました。Cです！6年目になりました。
 昨年度、あと1年いたなら山あげ祭の6つの当番町一周しちゃうなあ〜なんて言っていたら本当にそうなってしまいました(笑)
 ○今年度は、やってみたい特集や事業を一つでも多くできれば良いなと思っています！みなさんに協力していただくこともあるかも！?その時は、どうぞよろしくお願いします！
 ○さて、話は変わりますが…今年が桜が咲くのが早かったですね。ぽかぽか陽気も続き、お花見にはもってこいの気候でした。休日には、市内各地の桜スポットが花見客でぎわっていました！
 ○桜といえば…毎年必ずやってしまっことがあります。それは、「桜の花びらが地面に落ちる前に、3枚キャッチする」というもの。子どもの頃に聞いた話で、地面に落ちる前にキャッチすると良いことがあるらしいのです。これが意外と難しい…!
 ○この広報紙が発行する10日は、まだ桜が残っているかな…?きつと良いことが起こるはず!みなさんもチャレンジしてみてください(笑)



Information

新着図書

南那須図書館 ☎0287-88-2748 Fax88-0204
 烏山図書館 ☎0287-82-3062 Fax82-7566

★図書館HPから新着図書が検索できます★
<http://www.lib-nasukarasuyama.jp/>

2018.3.1現在
 ()対前月比

人口 26,053(-33)

男 12,903 女 13,150
 出生 17 死亡 38
 転入 36 転出 48

世帯数 9,409

市の人口

※平成27年国勢調査を基に集計した統計人口です。

★一般図書★

『一〇一歳の習慣』 高橋 幸枝
 『母の家がごみ屋敷』 工藤 哲
 『人間の未来AIの未来』 山中 伸弥
 『ハーバリウム』 誠文堂新光社
 『一目おかれる振るまい図鑑』 ホームライフ取材班
 『かしこい子が育つ足うらマッサージ』 鈴木 きよみ
 『立ち直る力』 辻 仁成
 『イザベルに薔薇を』 伊集院 静
 『半分生きて、半分死んでいる』 養老 孟司
 『恨みっこなしの老後』 橋田 壽賀子
 『私はあなたの記憶のなかに』 角田 光代
 『そして、バトンは渡された』 瀬尾 まいこ

★児童図書★

『修羅の都』 伊東 潤
 『「ふつう」ってなんだ?』 ReBit
 『英語が好きになる』 関 和之
 『大坂城へタイムワープ』 細雪 純
 『花見べんとう』 二宮 由紀子
 『妖怪一家の温泉ツアー』 富安 陽子
 『笑い猫の5分間怪談』 那須田 淳
 『ぼくのきいろいくつした』 かの ゆきこ
 『じゃぶじゃぶじゃぐちくん』 新井 洋行
 『きょう、おともだちができたの』 得田 之久
 『ぜったいあけちゃダメッ!』 アンディ リー
 『コケコックさん』 林 木林
 『ぼくのきもちはね』 コリ ドーフェルド
 『ぎゅ〜っ!』 いしづ ちひろ

文芸コーナー

俳句

齋藤 穂 選

お守の鈴の音清か入学児

伊藤 博志 (田野倉)

春一番テニスボールを魔球にす

古内 晴代 (金井)

音立てて竹跳ね起きる雪の朝

西森 一雄 (南大和久)

雨水過ぎ畑に躍る耕運機

樋山 隆 (向田)

川柳

篠崎 酔月 選

なんとなく所作に本音がでてしまい

高野 久子 (大桶)

水切りの波紋数えて競う子等

石川由美子 (興野)

散歩道友と話がまだ続き

黒羽 ミイ (野上)

子沢山起れば母は忙しい

小川 昌子 (向田)

短歌

福澤 悦子 選

古民家で語りに聞き入る子供達梅の花咲く山
 間の里 須田 孝子 (城東)

寒中にじっと耐えたるふきのとう落葉の中に
 小さな春が 水上キヨ子 (志鳥)

オリンピック届かぬ声援炬燵にて 負けても
 勝っても涙で泣く 石川 ミチ (大桶)

温顔の思い出す骨となり母の居ぬ世の始
 まらんとす 川俣登志子 (旭)

作品集

毎月10日までに、総合政策課広報広聴グループ
 (〒321-0692 那須烏山市中央1丁目
 1番1号)にて、郵送で作品をご応募ください。

※都合により、今回の俳句は齋藤穂さんに選者をお願いしました。

足利銀行(南那須)さん後ろ 小・中学生対象の補習系学習塾

歩-Ayumi-塾

☆入塾金0円! 新1,2年生は初月の授業料0円!

☆新学期が始まりましたが順調ですか?

☆無料体験もあるので、まずはお電話を!

「チラシを見た」とご連絡下さい

☎090-5423-4499 (代表者: 佐藤 諒)

おかげ様で35年!

三井住友海上代理店

(有)しおや保険事務所

◇損害保険: 自動車・自賠責・火災・地震・使用者賠償

◇生命保険: 新総合収入保障・新医療・三大疾病・ガン

◆お問合せ 〒321-0526 那須烏山市田野倉383

TEL:0287-88-9870 FAX:0287-88-0234

シリーズ

烏山高校ってこんなところ!~烏山学編③~



1月17日(水)、烏山公民館で「烏山学全体発表会」が行われ、烏山高1年の生徒のほか、烏山学で講師役となった地域住民など約70人が訪れました。

発表では、10月に2日間にわたって行われた14テーマの選択プログラムを体験した生徒から、それぞれが体験した感想や、那須烏山市が抱える課題、地域のために自分たちができることなど様々な視点から発表が行われました。

今月号では、烏山学を学習して感じたことなどを生徒のみなさんに紹介してもらいます。

「みんなにやさしいまちづくりを考えよう」を選んだ

新井葉名さん(中央2丁目)

車いすやアイマスクを使って足や目が不自由な人の体験をしました。市内を歩いてみると、段差があったり、手すりがなかったり、「障がいを持っている人にとって頼りになるものがない」というのが印象的でした。

将来、建築関係に就きたいと思っているので、誰もが快適に過ごせる空間作りをしたいと改めて感じました。



「地域医療の現状について考えよう」を選んだ

羽石侑輝さん(落合)

那須南病院では、医師や看護師だけでなく、理学療法士や作業療法士などの業種があることを聞きました。しかし、医療界全体で人手が不足しているようで、普及させるためにはそういった業種があることを広めることが大切だと思いました。

体験をとおして、医療の場と地域がふれあいをもてるような地域密着の医者になりたいと思いました。



「地元で介護を体験しよう」を選んだ

板橋未奈さん(南大和久)

介護士を目指す私は、特別養護老人ホーム敬愛会を訪問しました。正直、介護は大変で暗いイメージでしたが、「利用者のできないことをサポートすることが介護士の務め」と聞き、とてもかっこいい仕事だと思い、夢が広がりました。

私が介護士になったら、笑顔あふれる施設の環境づくりに力を入れたいと思いました。



那須烏山ジオパーク構想だより⑫

〜築城600年記念烏山城特集〜

今年、ジオサイトの一つである烏山城が築城600年を迎えました。記念すべき節目の年ということで、6号連続で烏山城特集をお届けします。初回となる今月号では、烏山城の沿革を改めてご紹介します。

烏山城は応永25年(1418)那須氏一族の沢村五郎資重によつて築城されたと言われる山城です。それ以降、天正10年(1590)に当主那須資晴が小田原運参を理由に豊臣秀吉によつて改易されるまで、那須氏の居城となりました。

戦国末〜江戸中期においては織田氏、成田氏、松下氏、堀氏、板倉氏、那須氏、永井氏、稲垣氏と頻りに城主が変わりま



した。享保10年(1725)になると、譜代大名の大久保常春が近江国三雲(現・滋賀県)より移封され、その後八代、約140年間にわたり大久保氏が城主となった末、明治を迎え廃城となりました。

来月号では、なぜこの地に烏山城が建てられたのか、那須烏山の地形などに注目してご紹介します。

